

令和元年度事業報告

令和元年度事業報告

1 概要

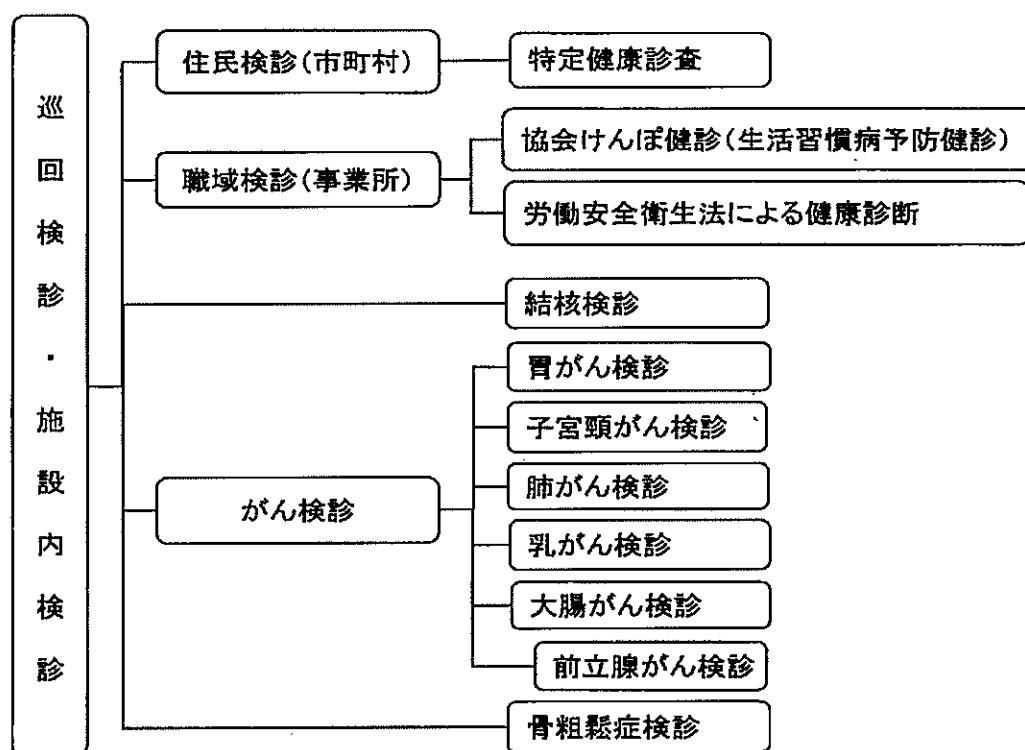
センターの運営の基本方針として、(1) 質の高い検診の提供、(2) 受診者数の増加のための取組強化、(3) 人件費等経費の縮減努力の継続、(4) 乳がん検診車のデジタル化、(5) 経営改善計画の見直しの5つの項目を掲げて事業に取り組んできた。

特に、センターの事業の根幹をなしている検診事業に関しては、事業収益の増加に向けて、クリニックの強化等検診体制の充実などを通じた受診者の増加を目指すとともに、受診者サービスの向上に努めたきたところである。

しかしながら、本年、新型コロナウイルス感染症が1月28日に国内で初めて発生し、本県においては3月3日に初の感染者が確認され、この影響で3月に予定していた巡回検診がほぼ中止となった。

この結果、検診実施状況については、当初計画と比較して受診者数が減少することとなったが、決算では、当初の見込額から黒字幅が減少したものの、2期連続で黒字決算を計上することとなった。

【検診全体の体系図】



2 検診事業

(1) 検診の実施状況

令和元年度の住民検診、職域検診における受診者総数は、181,516人となり、前年度と比較して13,355人の減(6.9%の減)となった。

その主な要因としては、新型コロナウイルス感染症による検診の中止に加え市町村の稼働日数の短縮や少子化、過疎化の進行、人口減少等によるものである。

また、クリニックにおける健康診断については、開所日数を前年から22日増加したことで、902人の増(13.7%の増)となった。

表Ⅰ 検診受診者数

(単位：人)

検診項目	元年度(A)	30年度(B)	増減 (A)-(B)
特定健康診査(住民)	17,163	18,600	△ 1,437
生活習慣病健診(職域)	14,518	15,890	△ 1,372
結核検診	57,269	59,094	△ 1,825
骨粗鬆症検診	2,963	4,478	△ 1,515
胃がん検診	12,352	14,343	△ 1,991
子宮頸がん検診	18,054	19,585	△ 1,531
肺がん検診	22,556	23,712	△ 1,156
乳がん検診	15,255	16,109	△ 854
大腸がん検診	21,386	23,060	△ 1,674
合 計	181,516	194,871	△ 13,355

(2) 特定健康診査、生活習慣病予防健診受診者への特定保健指導

特定健康診査(市町村国保加入者を対象)や生活習慣病予防健診(各健保組合被保険者・被扶養者を対象)の検診結果から生活習慣病の発症リスクが高い方(メタボリックシンドローム)に対して、保健師や管理栄養士等が対象者の状況に合わせた生活習慣を見直すためのサポートを行った。

表Ⅱ 特定保健指導実施数

(単位：人)

特定保健指導	元年度(A)	30年度(B)	増減(A)-(B)
動機付け支援	124	66	58
積極的支援	40	58	△ 18
合 計	164	124	40

(3) 精度管理の充実

検診で要精密検査となった受診者の結果を把握することは、がん検診の精度管理上、重要である。平成30年度に「要精密検査」の判定を受け、

精密検査を受診した方ががん発見数については、次のとおりである。

なお、検診から結果把握まで期間を要することから、元年度の実績報告は1年遅れとなる。

表Ⅲ 精検結果状況（平成30年度）

検診項目	検診受診者数 (人)	要精検者数 (人)	精検受診者数 (人)	がん発見数 (人)	がん発見率 (%)	全国平均 (%)
胃がん	14,343	1,414	1,262	9	0.06	0.11
子宮頸がん	19,585	364	326	4	0.02	0.01
肺がん	23,712	481	404	24	0.10	0.05
乳がん	15,851	1,192	1,125	52	0.33	0.26
大腸がん	22,635	1,357	1,109	46	0.20	0.17
合 計	96,126	4,808	4,226	135	0.14	0.13

(注) 1 がん発見率＝がん発見数÷検診受診者数

(注) 2 全国平均は、日本対がん協会各県支部の平均

(4) 検診体制の充実

乳がん検診車のデジタル装置の載替え及び乳がん読影用PCの整備、医療機器の更新及びシステム改修を次のとおり行なった。

表Ⅳ 機器等の整備状況

項 目	整備の内容	整備費用 (単位：千円)	資金の調達
あすか1・2号 (乳がん検診車)	デジタル装置に載換え	27,955	リース
乳がん読影用 PCシステム	モニターシステム付 PCシステム	3,882	リース
解析付心電計	更 新	507	リース
超音波診断装置	更 新	4,459	リース
システム改修	総合健診システム改修	4,737	リース
合 計		43,890	

※1 リース期間はいずれも5年リース

2 リース期間満了後は無償譲渡

3 普及啓発事業

普及啓発事業については、結核予防会及び日本対がん協会の支部として結核予防週間、がん征圧月間に併せた広報宣伝活動を行うとともに、結核やがんに対する知識の啓発と予防意識の高揚を図り、活動資金を得るための募金活動を併せて実施した。

(1) 結核予防会大分県支部としての活動

① 複十字シール募金運動：期間 8 / 1 ~ 12 / 31

8月1日からの複十字シール募金運動の開始にあたって、全国一斉複十字シール運動キャンペーンの一環として、7月31日に大分県知事を結核予防婦人会役員と表敬訪問し、本運動の協力をお願いした。

また、結核予防婦人会員、県等と協力して募金運動に取り組んだ結果、県、市町村、婦人会等から2, 226, 376円の募金が寄せられた。

② 結核予防週間街頭キャンペーン：結核予防週間 9 / 24 ~ 30

日時：令和元年9月25日(水)午前11時10分~11時40分

場所：トキハ本店前及び中央商店街

内容：結核予防婦人会、大分県健康対策課及び大分市保健所とともに街頭啓発キャンペーンを行い、複十字シール、リーフレット、ボールペン等を配布して、複十字募金を呼びかけた結果、14, 447 円の募金が寄せられた。

(2) 日本対がん協会大分県支部としての活動：5 / 18 ~ 19

① リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2019 中津

中津市の三光総合運動公園で、地元の医療関係者による実行委員会と日本対がん協会が主催し、市内で初めて開催した。

なお、9月21, 22日に開催予定であった大分大会は、降雨のため中止となった。

② がん征圧月間 9 / 1 ~ 30

がん予防に関するポスター、パンフレット、リーフレットを県、市町村、医療機関等に配布するとともにがん征圧月間に併せて新聞広告を掲載した。

③ がん征圧運動

がん征圧運動事業推進のため、県、医師会、事業所等へ会員募集の協力を求めた結果、971, 000円の募金が寄せられた。

(3) 平成30年度各種検診・検査実績の公開

平成30年度の各種検診・検査事業実績等を後述の各種委員会におい

て報告し、ホームページ上に情報を公開する。

4 研究・研修事業

各種がん検診の円滑な推進やがん患者の早期発見、精度管理の充実、向上を図るため、各種委員会を開催するとともに、検診に従事する職員の専門知識の修得及び人権意識の醸成のためセンター内外での研修等に努めた。

(1) 各種委員会の開催

① 細胞診判定委員会

日	時	令和2年2月7日（金）	18時
場	所	大分県医師会館	
出席委員数	委員8名のうち4名		
議	題	・尿細胞診検査の状況 ・肺がん検診（喀痰細胞診）の状況 ・子宮がん検診の状況報告	

② 消化器がん検診委員会

日	時	令和2年2月14日（金）	18時
場	所	大分県医師会館	
出席委員数	委員14名のうち9名		
議	題	・胃がん検診の状況 ・大腸がん検診の状況 ・大腸がん検診における便潜血検査のカットオフ値	

③ 乳がん検診読影委員会

日	時	令和2年2月18日（火）	19時
場	所	大分県医師会館	
出席委員数	委員11名のうち7名		
議	題	・乳がん検診の状況 ・「調査票D乳検診で発見した乳がん患者の個票」の一部変更 ・乳癌検診学会の全国集計	

④ 結核・肺がん検診委員会

日	時	令和2年2月27日（木）	18時30分
場	所	大分県医師会館	
出席委員数	委員9名のうち7名		
議	題	・結核・肺がん検診（胸部X線）の状況 ・肺がん検診（喀痰細胞診）の状況	

(2) 「平成30年度事業年報」

前述の「3 普及啓発事業」の(3)で掲載

(3) 講習会・研修会等の開催事業

① 検診スタッフ研修会

日 時 平成31年4月3日(木) 10時30分

場 所 大分県医師会館

参加者 常勤職員、パート職員123名

② 防災ビデオ研修(大分県医師会と共催)

日 時 平成31年4月17日(水) 14時

場 所 大分県医師会館

参加者 職員40名

③ 大分県福祉保健部人権啓発研修会

日 時 令和元年12月12日(木) 13時30分

場 所 大分県庁正庁ホール

参加者 職員2名

④ がん精密検診協力医療機関研修会(大分県医師会と共催)

日 時 令和2年1月19日(日) 9時

場 所 大分県医師会館

参加者 医師等207名

(4) 学会及び研修会等の参加

・結核予防会・日本対がん協会関係

月	日	名 称	場 所
6	7	結核予防会特定保健指導勉強会	東京都
7	2	日本対がん協会全国事務局長会議	東京都
8	29	結核予防会・対がん協会九州・沖縄地区合同会議	鹿児島県
9	12・13	日本対がん協会がん征圧全国大会	愛媛県
11	14	日本対がん協会九州・沖縄県支部ブロック会議	沖縄県
11	30	結核予防会九州地区会議	宮崎県
12	19～20	結核予防会胸部画像精度管理研究会	東京都
1	16	WEB予約一元化システム研修会	愛媛県
1	30・31	結核予防会事業協議会研修会	東京都

・学会関係

月	日	名 称	場 所
6	8～9	日本臨床細胞学会総会	東京都
7	20	デジタルマンモグラフィ技術講習会	福岡県
9	21	日本消化器がん検診学会九州地方会	鹿児島県
10	26	日本消化器がん検診学会	神奈川県
11	16・17	日本臨床細胞学会秋季大会	岡山県

1 1	17	デジタルマンモグラフィ講習会	福岡県
1 2	8	ピンクリボンアドバイザー認定試験	福岡県

・外部精度管理事業

月	日	名 称
5	29	日本臨床検査技師会臨床検査精度管理
6	26	大分県医師会臨床検査精度管理調査

5 その他

(1) 理事会・評議員会の開催

①令和元年度第1回理事会

日 時：令和元年6月5日(水)15時

場 所：大分県医師会6階研修室I

出席者：理事13名のうち7名、監事2名

議 事

(審議事項)

第1号議案 平成30年度事業報告及び決算について

第2号議案 令和元年度定時評議員会の日時、場所及び目的である
事項について

第3号議案 理事の任期満了に伴う理事候補者の推薦について

選出区分	理事候補者	再任・新任
大分県医師会長	近 藤 稔	再任
大分県地域保健支援センター事務局長	小 嶋 浩 久	再任
大分県市長会代表	永 松 悟	再任
大分県町村会長	藤 本 昭 夫	再任
大分県産婦人科医会副会長	岩 永 成 晃	再任
国立病院機構別府医療センター院長	矢 野 篤次郎	新任
九州大学病院別府病院長	堀 内 孝 彦	再任
大分大学医学部附属病院長	門 田 淳 一	再任
大分赤十字病院長	本 廣 昭	再任
大分県結核予防婦人会長	安 部 志津子	再任
大分市保健所長	嶋 津 宗 典	再任
大分県福祉保健部参事監兼健康づくり支援課長	藤 内 修 二	再任
大分県地域保健支援センター診療所長	後 藤 朗	再任

第4号議案 監事の辞任に伴う補欠監事候補者の推薦について

選出区分	監事候補者(新任)	退任者
日本赤十字社大分県支部事務局長	長谷尾 雅 通	平 原 健 史

(報告事項)

第1号報告 監査報告について

第2号報告 理事長及び業務執行理事の職務の執行状況について

②令和元年度定時評議員会

日 時：令和元年6月20日(木) 15時

場 所：大分県医師会 6階研修室 I

出席者：評議員7名のうち6名、理事1名、監事2名

議 事

(審議事項)

第1号議案 平成30年度事業報告及び決算について

第2号議案 理事の任期満了に伴う理事の選任について

選出区分	理事候補者	再任・新任
大分県医師会長	近 藤 稔	再任
大分県地域保健支援センター事務局長	小 嶋 浩 久	再任
大分県市長会代表	永 松 悟	再任
大分県町村会長	藤 本 昭 夫	再任
大分県産婦人科医会副会長	岩 永 成 晃	再任
国立病院機構別府医療センター院長	矢 野 篤次郎	新任
九州大学病院別府病院長	堀 内 孝 彦	再任
大分大学医学部附属病院長	門 田 淳 一	再任
大分赤十字病院長	本 廣 昭	再任
大分県結核予防婦人会長	安 部 志津子	再任
大分市保健所長	嶋 津 宗 典	再任
大分県福祉保健部参事監兼健康づくり支援課長	藤 内 修 二	再任
大分県地域保健支援センター診療所長	後 藤 朗	再任

第3号議案 監事の辞任に伴う後任監事の選任について

選出区分	監事候補者(新任)	退任者
日本赤十字社大分県支部事務局長	長谷尾 雅 通	平 原 健 史

(報告事項)

第1号報告 監査報告について

第2号報告 平成30年度第2回理事会（3月27日）の決議内容
について

③令和元年度第2回理事会（定款第37条に基づく決議の省略による開催）

1 理事会の決議があったものとみなされた事項の内容

(1) 近藤 稔理事を理事長とし、代表理事に選定する。

(2) 小嶋 浩久理事を専務理事とし、業務執行理事に選定する。

- 2 理事会の決議があったものとみなされた日
令和元年6月20日

④令和元年度第3回理事会（定款第37条に基づく決議の省略による開催）

- 1 理事会の決議があったものとみなされた事項の内容
(1) 令和元年度収支補正予算案について
(2) 令和2年度事業計画及び収支予算案について
(3) 理事長及び業務執行理事の職務の執行状況について

- 2 理事会の決議があったものとみなされた日
令和2年3月31日

(2) 福利厚生

当センターは経営の許容する範囲内において、職員に対して次の福利厚生を行った。

- ①当センターで行う定期健康診断の助成 ②職員駐車場の使用料助成
③慶弔見舞 ④被服貸与

6 資料

- (1) 令和元年度・2年度役員(理事・監事)・評議員名簿……………(別紙)
(2) 組織機構図……………(別紙)
(3) 市町村健康診査受託状況……………(別紙)
(4) 令和元年度検診受診者数の内訳……………(別紙)
(5) 特定保健指導の支援形態……………(別紙)

令和元年度公益財団法人大分県地域保健支援センター役員名簿

役職名	氏 名	選 出 区 分
理 事 長	近藤 稔	大分県医師会長
専務理事	小嶋 浩久	大分県地域保健支援センター事務局長
理 事	永松 悟	大分県市長会代表
理 事	藤本 昭夫	大分県町村会長
理 事	岩永 成晃	大分県産婦人科医会副会長
理 事	酒井 浩徳	国立病院機構別府医療センター院長
	矢野 篤次郎	6 / 20 ~
理 事	堀内 孝彦	九州大学病院別府病院長
理 事	門田 淳一	大分大学医学部附属病院長
理 事	本廣 昭	大分赤十字病院長
理 事	安部 志津子	大分県結核予防婦人会長
理 事	嶋津 宗典	大分市保健所長
理 事	藤内 修二	大分県福祉保健部参事監兼健康づくり支援課長
理 事	後藤 朗	大分県地域保健支援センター診療所長
監 事	此本 卓彌	公認会計士此本会計事務所長
監 事	平原 健史	日本赤十字社大分県支部事務局長
	長谷尾 雅通	6 / 20 ~

令和元年度公益財団法人大分県地域保健支援センター評議員名簿

役職名	氏 名	選 出 区 分
評議員	河野 幸治	大分県医師会副会長
評議員	柴崎 明彦	大分県歯科医師会副会長
評議員	後藤 一也	国立病院機構西別府病院長
評議員	井上 敏郎	自治体病院協議会大分県支部長
評議員	竹中 愛子	大分県看護協会会長
評議員	市川 泰朗	大分県理学療法士協会会長
評議員	安部 澄子	大分県栄養士会顧問

令和2年度公益財団法人大分県地域保健支援センター役員名簿

役職名	氏 名	選 出 区 分
理 事 長	近藤 稔	大分県医師会長
専務理事	小嶋 浩久	大分県地域保健支援センター事務局長
理 事	永松 悟	大分県市長会代表
理 事	藤本 昭夫	大分県町村会長
理 事	岩永 成晃	大分県産婦人科医会副会長
理 事	矢野 篤次郎	国立病院機構別府医療センター院長
理 事	堀内 孝彦	九州大学病院別府病院長
理 事	門田 淳一	(大分大学医学部附属病院長)
理 事	本廣 昭	大分赤十字病院長
理 事	安部 志津子	大分県結核予防婦人会長
理 事	嶋津 宗典	大分市保健所長
理 事	藤内 修二	大分県福祉保健部参事監兼健康づくり支援課長
理 事	後藤 朗	大分県地域保健支援センター診療所長
監 事	此本 卓彌	公認会計士此本会計事務所長
監 事	長谷尾 雅通	日本赤十字社大分県支部事務局長

※ 選出区分欄の所・氏名を（ ）で記している理事は、4月1日現在、その職を退任されています。

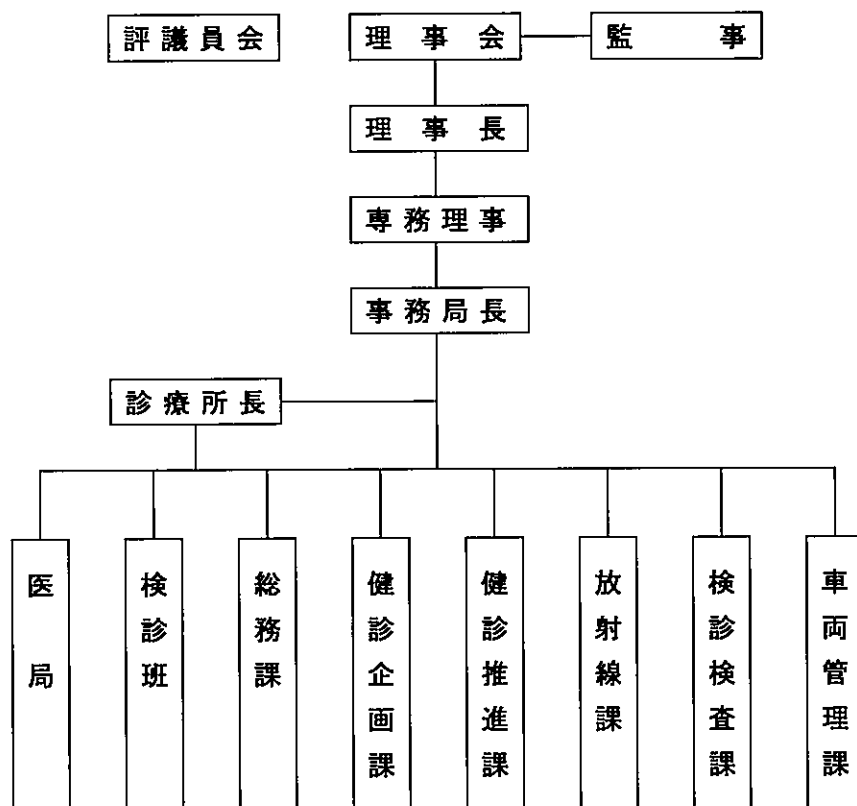
令和2年度公益財団法人大分県地域保健支援センター評議員名簿

役職名	氏 名	選 出 区 分
評議員	河野 幸治	大分県医師会副会長
評議員	柴崎 明彦	(大分県歯科医師会副会長)
評議員	後藤 一也	国立病院機構西別府病院長
評議員	井上 敏郎	自治体病院協議会大分県支部長
評議員	竹中 愛子	(大分県看護協会会長)
評議員	市川 泰朗	大分県理学療法士協会会長
評議員	安部 澄子	大分県栄養士会顧問

※ 選出区分欄の所・氏名を（ ）で記している評議員は、4月1日現在、その職を退任されています。

公益財団法人大分県地域保健支援センター組織機構図

平成31年4月1日



【職員数】

区 分	事 務	医 師	放 射 線 技 師	保 健 師	看 護 師	臨床検査 技 師	運 転 士	合 計
常勤役員	1							1
職 員	8	1	9	3	3	7	2	33
準職員	3			1			1	5
嘱 託	2	3	1		4		5	15
臨 時	3							3
合 計	17	4	10	4	7	7	8	57
30年度	19	4	9	4	7	8	9	60

令和元年度 市町村健康診査受託状況

市町村	検 診 受 託 項 目														
	特定健診	特定保健指導		推 奨	胸部			乳がん		胃がん		子宮頸がん	大腸がん	骨粗鬆症	尿細胞診
		積極的支援	動機付支援		単独検診			マンモ	エコー	血液	X線				
					結核	二重	喀痰								
大分市	◎				◎	◎	◎	○	○	◎	○	○	○	○	
別府市								○			○	○	○	○	
中津市												○			
佐伯市					○	○	○	○			○	○	○		
臼杵市												○			
津久見市	○			○				○	○	○	○	○	○	○	○
竹田市	○	○	○		○	○	○				○	○		○	○
豊後高田市											○	○			
杵築市	○	◎	◎		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
宇佐市				○				○			○	○			
豊後大野市	○	○	○	○				○	○		○	○	○	○	○
国東市	○	○	○	○						○	○	○	○		○
由布市	○				○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
日出町	○	○	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○
姫島村					○	○					○	○			
九重町	○			○				○	○		○	○	○	○	○
玖珠町	○		○	○				○	○	○	○	○	○	○	○
合 計	10	5	6	7	6	6	5	11	8	6	15	17	11	9	9

記号説明： ○は「継続受託」 ◎は「31年度から新規受託」 ③は「施設(クリニック)健診のみ」

※ 胸部検診の「推奨」における受託項目は、結核検診、二重読影、喀痰検査(ハイリスク者)です。

令和元年度検診受診者数の内訳

1 市町村住民検診

(単位：人)

検診項目	元年度(A)	30年度(B)	増減(A)-(B)
特定健康診査	17,163	18,600	△ 1,437
結核検診	21,998	23,001	△ 1,103
骨粗鬆症検診	2,549	3,135	△ 586
胃がん検診	10,470	11,956	△ 1,486
子宮頸がん検診	16,436	17,961	△ 1,525
肺がん検診	22,395	23,342	△ 947
乳がん検診	12,635	13,500	△ 865
大腸がん検診	18,853	20,351	△ 1,498
合 計	122,499	131,846	△ 9,347

(増減理由) ①特定健康診査 稼働日数9日減
 ②結核検診 稼働日数15日減
 ③骨粗鬆症検診 稼働日数15日減
 ④胃がん検診 稼働日数15日減
 ⑤子宮頸がん検診 稼働日数12日減
 ⑥肺がん検診 稼働日数15日減
 ⑦乳がん検診 稼働日数 1日減
 ⑧大腸がん検診 稼働日数19日減

2 職域検診

(単位：人)

検診項目	元年度(A)	30年度(B)	増減(A)-(B)
生活習慣病健診	14,518	15,890	△ 1,372
結核検診	35,271	36,093	△ 822
骨粗鬆症検診	414	1,343	△ 929
胃がん検診	1,882	2,387	△ 505
子宮頸がん検診	1,618	1,624	△ 6
肺がん検診	161	370	△ 209
乳がん検診	2,620	2,609	11
大腸がん検診	2,533	2,709	△ 176
合 計	59,017	63,025	△ 4,008

(増減理由) ①生活習慣病健診 1事業所の他機関移行による減
 ②結核検診 1事業所の他機関移行による減
 ③骨粗鬆症検診 協会健保検診の実施減
 ④胃がん検診 1事業所の実施年度変更
 ⑤子宮頸がん検診 クリニックでの受診者減
 ⑥肺がん検診 1事業所の他機関移行による減
 ⑦乳がん検診 クリニックでの受診者減
 ⑧大腸がん検診 クリニックでの受診者減

特定保健指導の支援形態

1 動機付支援（6 か月）

元年度：124人（30年度：66人）

回数	時期	支援形態
1	初回面接	個別面接
2	3 か月後	手紙で情報提供
3	6 か月後	電話
		終了評価

2 積極的支援（6 か月）

元年度：40人（30年度：58人）

回数	時期	支援形態
1	初回面接	個別面接
2	2 週間後	電話
3	1 か月後	手紙A 積極的関与・指導
4	2 か月後	手紙B 励まし
5	3 か月後	個別面接・血液検査
6	4 か月後	手紙B 励まし
7	6 か月後	個別面接
		終了評価